

尾原ダム地域づくり推進連絡協議会では、平成24年1月15日（土）、雲南市尾原地区において「第6回神話の里さくらおろちの食べごと塾」を開催しました。



第6回「神話の里さくらおろちの食べごと塾」は、尾原地区のとんどさんへの参加から始まりました。アユの塩焼き、イノシシ汁、シカのステーキ、また、海岸地域との交流の象徴としてカキの丸焼き、定番のスルメイカ等、雪を吹き飛ばす「食」の「饗宴」となりました。参加者は、巨大なとんどさんも含めて大感激でした。



尾原地区のとんどさんに参加したあとには、もりふれ倶楽部の中村正志副理事長から「春の七草」の特徴や薬効等について学び、奥出雲町で有機栽培ハゲ干しのコシヒカリ玄米を使った七草粥をいただきました。その際、生の七草の味も味わってみました。